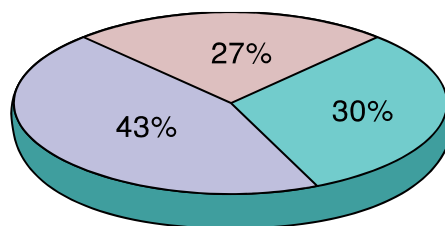


平成24年度食の安全安心リスクコミュニケーション

「食品の放射性物質汚染による健康影響等を考えるシンポジウム」

【開催状況報告】



県民くらしの安全課

目的

東日本大震災津波により発生した原発事故を受けて、食品の放射性物質汚染による健康への影響等について、県民の皆さんの関心が高まっています。

このことから、県では、食品の放射性物質汚染に対する健康影響等について、県民の皆さんに情報を提供するとともに、消費者代表、農業団体、食品事業者等による意見交換を行い、食品の安全性等に関する理解を深めるため、シンポジウム（基調講演、パネルディスカッション）を開催することとしたもの。

開催状況一覧

開催日	開催時刻	会場	参加人数
5/12(土)	13:00～16:00	岩手教育会館大ホール(盛岡市)	150人
5/19(土)	13:00～16:00	江刺体育文化会館ささらホール(奥州市江刺区)	150人
5/20(日)	13:00～16:00	一関文化センター中ホール(一関市)	200人
6/ 3(日)	13:00～16:00	エスポワールいわて大ホール(盛岡市)	110人

【基調講演】

食品の放射性物質汚染による健康への影響等について、世界各地での自然放射線の状況や、日常での放射性物質から受ける影響等、具体的な実例等により、放射性物質に対する正しい理解を促がした。

【調査報告】

本県における放射線の内部被ばくによる健康影響評価を目的として実施した、尿中放射性物質サンプリング調査に関する報告。

盛岡会場(岩手教育会館大ホール)

■ 日時

5月12日(土) 13:00~16:00

■ コーディネーター

元岩手医科大学医学部特任教授 板井 一好 氏

■ 基調講演

独立行政法人放射線医学総合研究所 原田 良信 氏

■ 調査報告

岩手県医療推進課感染症担当課長 工藤 啓一郎 氏

■ パネリスト

いわて生活協同組合理事 藤原 真帆 氏

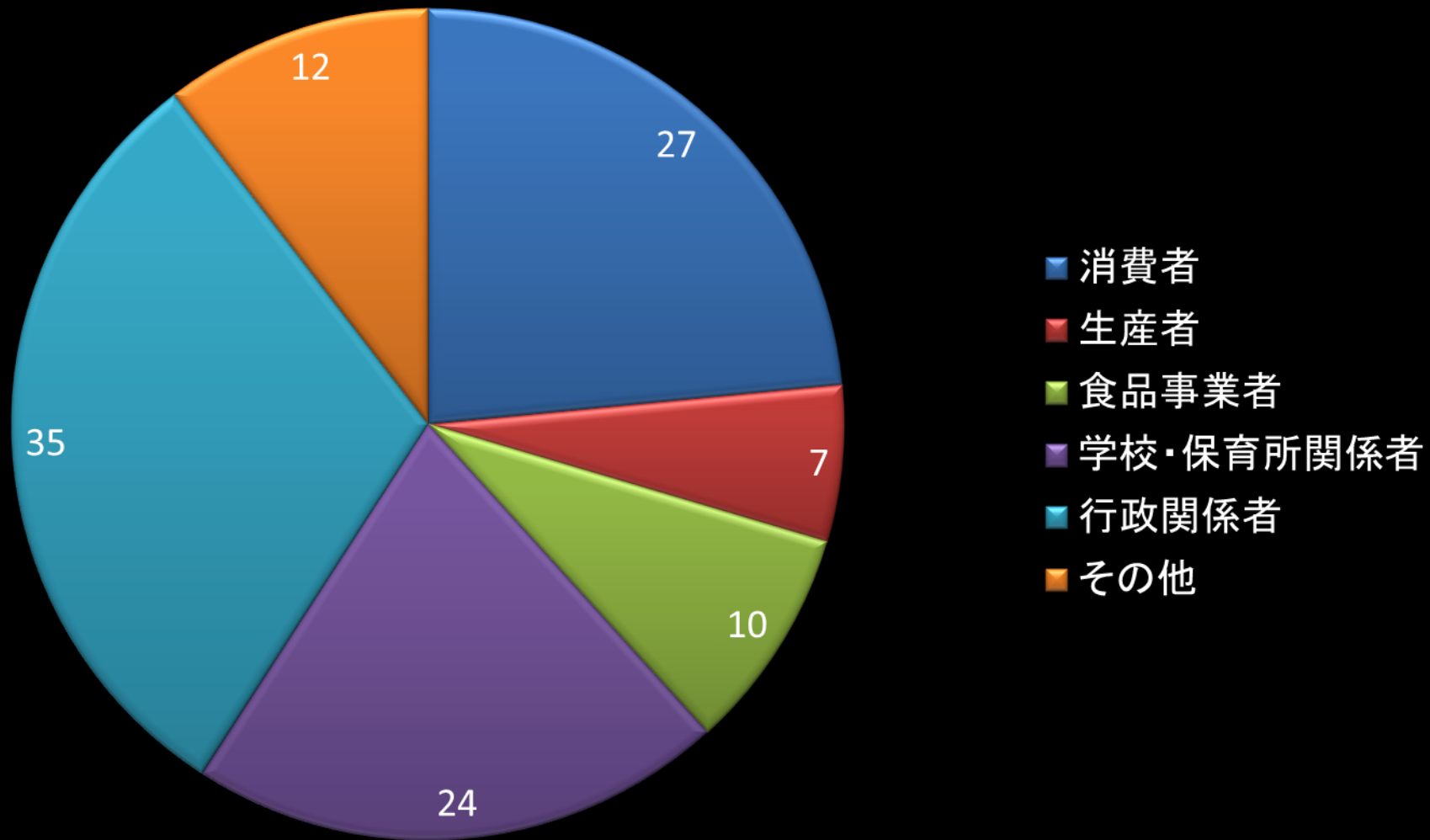
全農岩手県本部営農対策部次長 千葉 丈 氏

イオン株式会社品質管理部長 仲谷 正員 氏

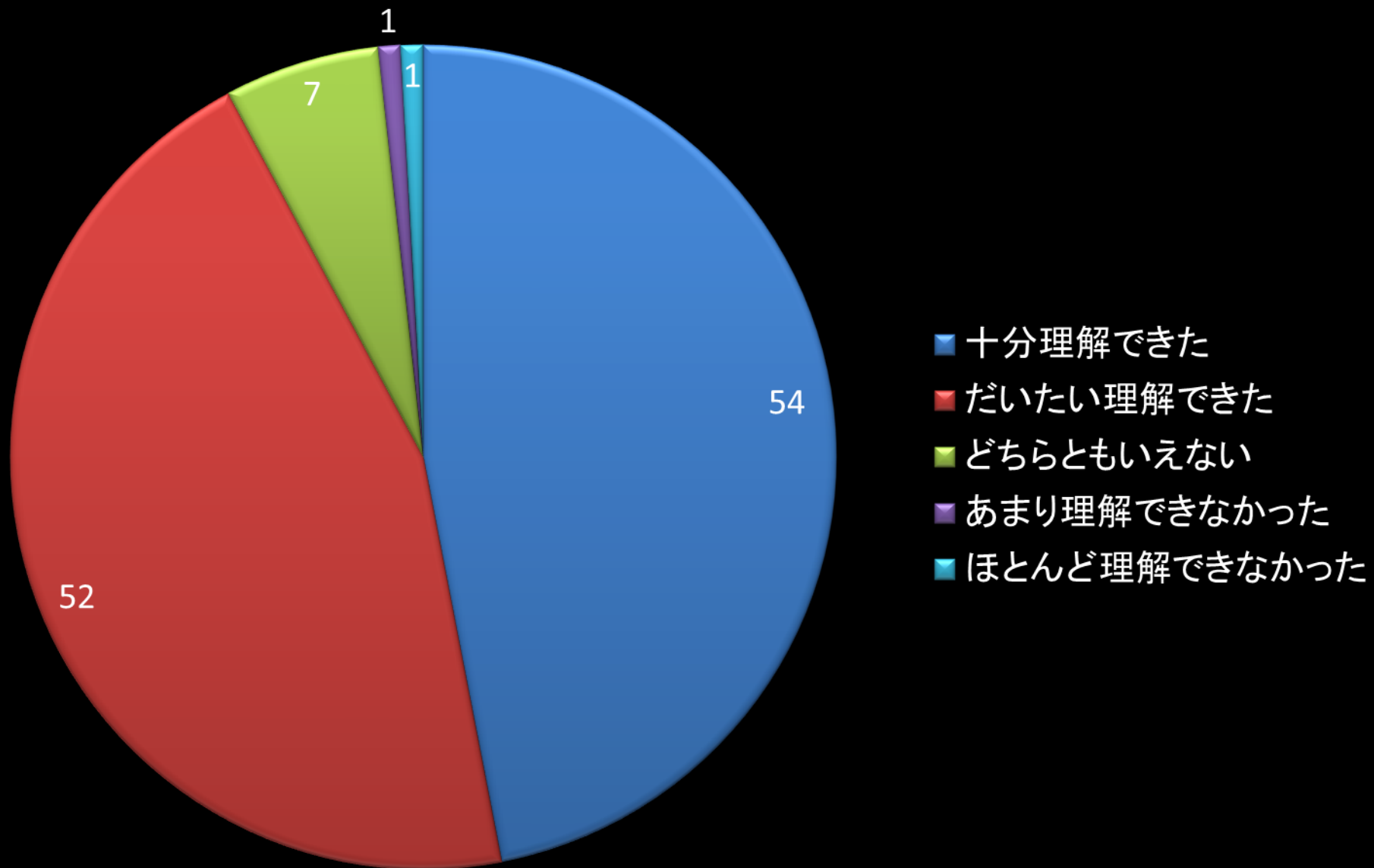
厚生労働省 基準審査課衛生専門官 鈴木 貴士 氏

アンケート調査結果

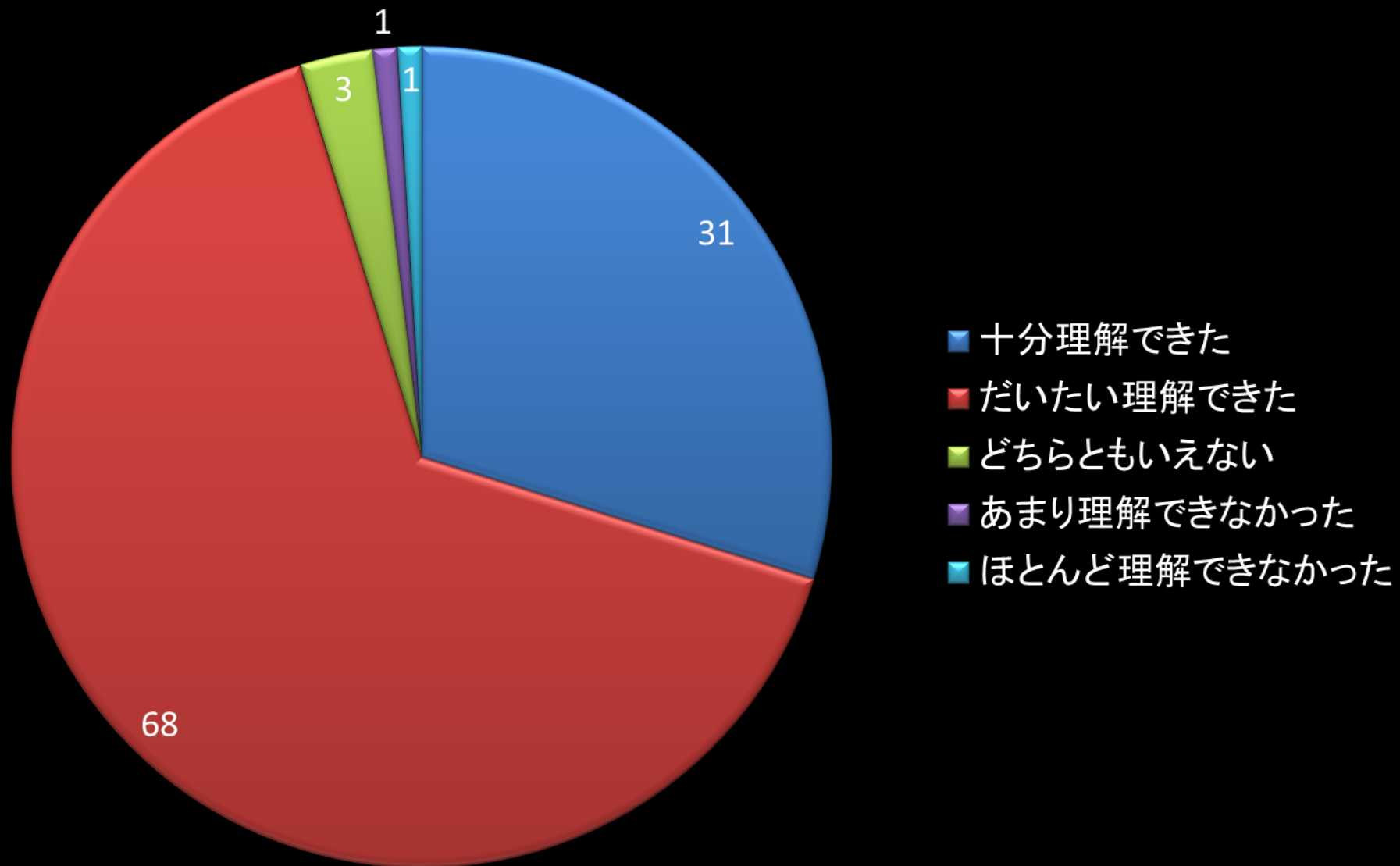
「回答者ご自身について教えてください。」



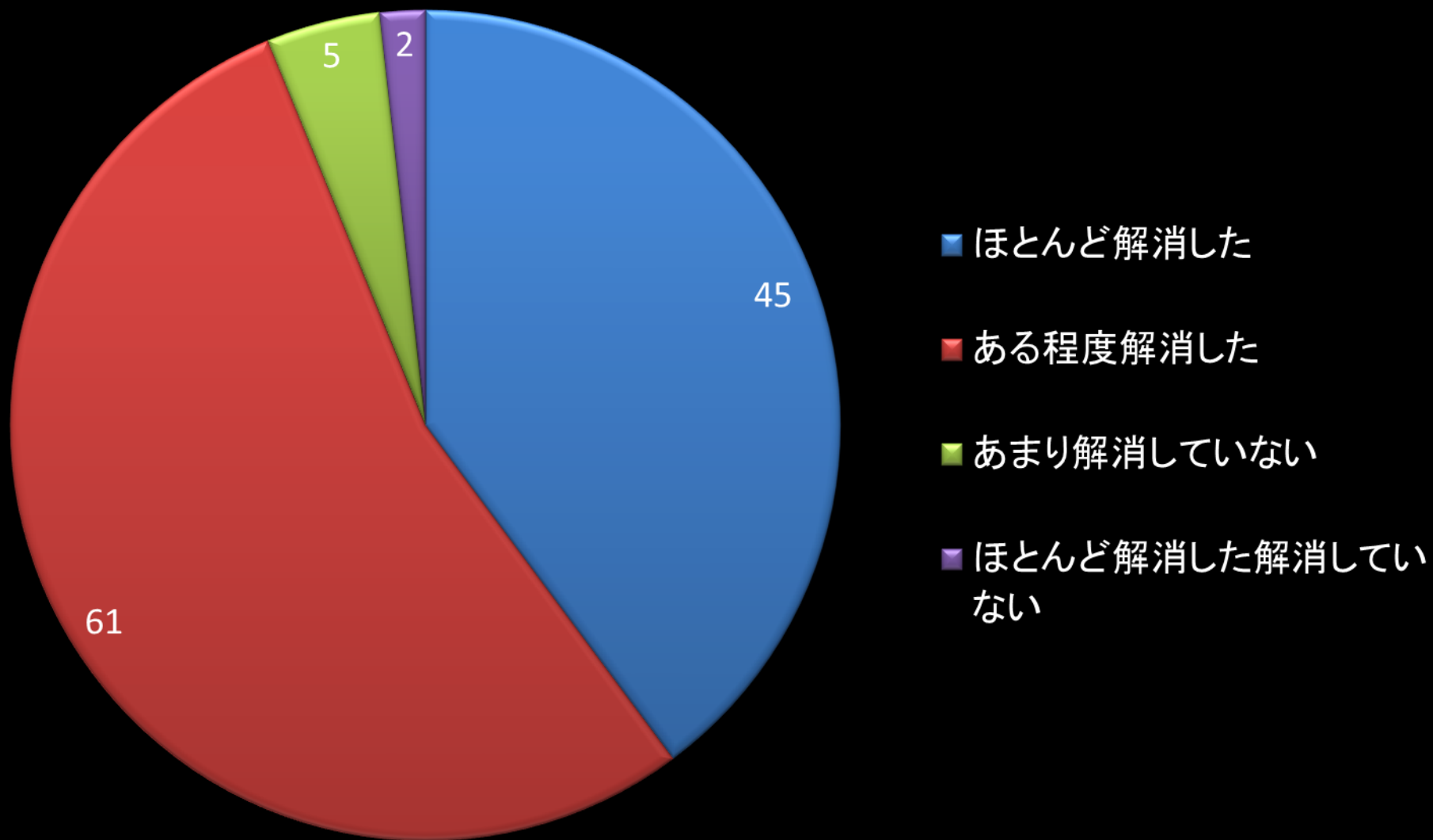
「基調講演の内容は理解できましたか。」



「パネルディスカッションでは、各団体等の取組が理解できましたか。」



「放射能の食品や健康への影響についてあなたが疑問に思っていたことは解消されましたか。」



会場から寄せられた主なご意見

- ◆ 放射線の不安が少し減りました。職場でみんなに話したいと思います。
- ◆ 「相場観」がわかり、あらためて生活の質の向上の方の大切さがわかり、良い内容の講演でした。
- ◆ 子供たちの将来が明るいものであるという希望が見え参加して本当に良かった。
- 安全なのか不安で困っている人々を安心させてあげてほしいと思います。
- 放射能の健康への影響は思っていたよりも少ないと感じたが、同時に、今後のマスコミ報道の在り方や国からの正しい説明の必要を感じた。
- 奥州市から参加しましたが、外部被ばくについても触れていただけないでしょうか。

奥州会場(江刺体育文化会館ささらホール)

■ 日時

5月19日(土) 13:00~16:00

■ コーディネーター

元岩手医科大学医学部特任教授 板井 一好 氏

■ 基調講演

内閣府食品安全委員会事務局 篠原 隆 氏

■ 調査報告

岩手県医療推進課感染症担当課長 工藤 啓一郎 氏

■ パネリスト

いわて生活協同組合理事 石橋 百合子 氏

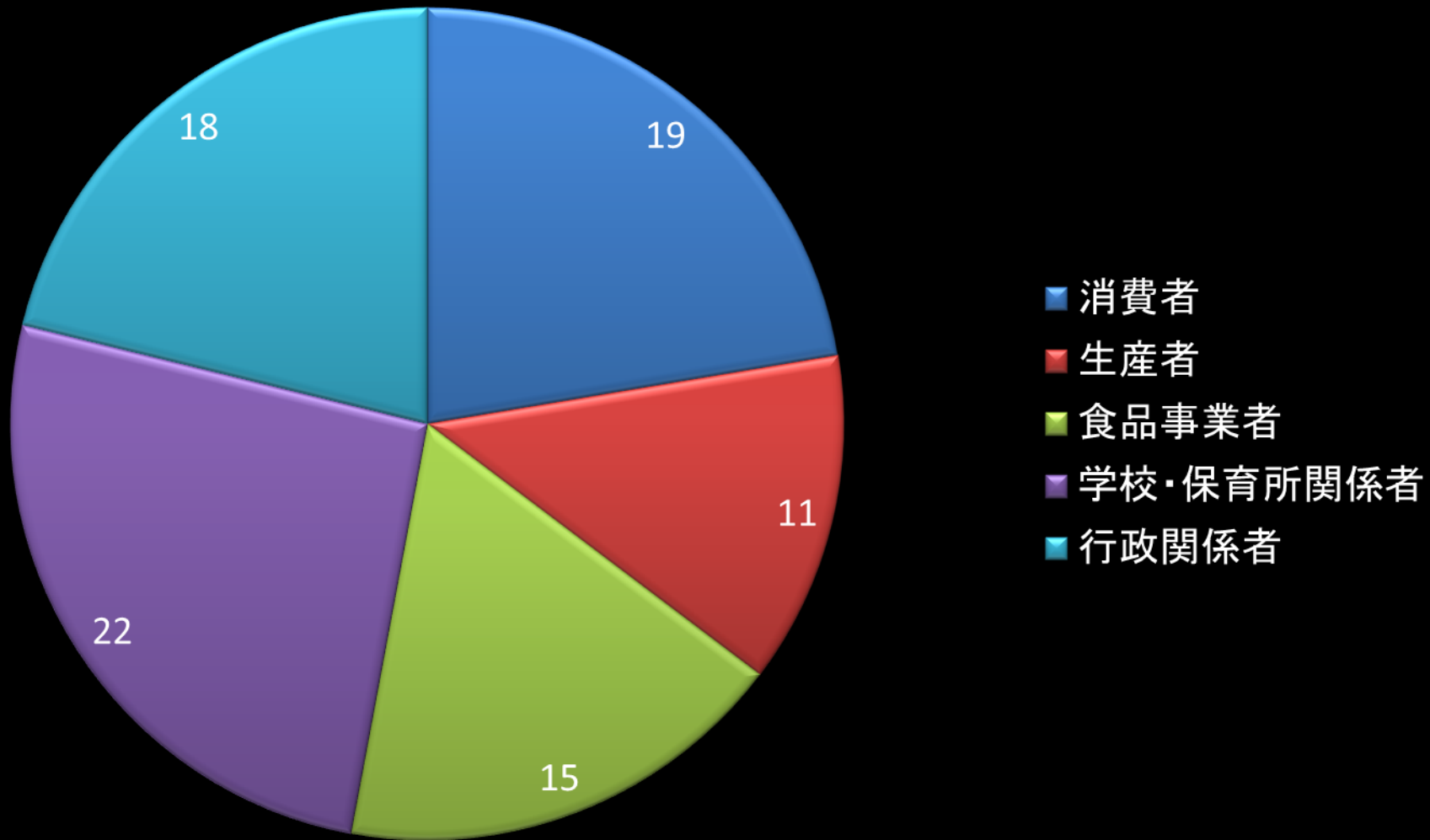
全農岩手県本部営農対策部長 菊池 清 氏

イオン株式会社品質管理部長 仲谷 正員 氏

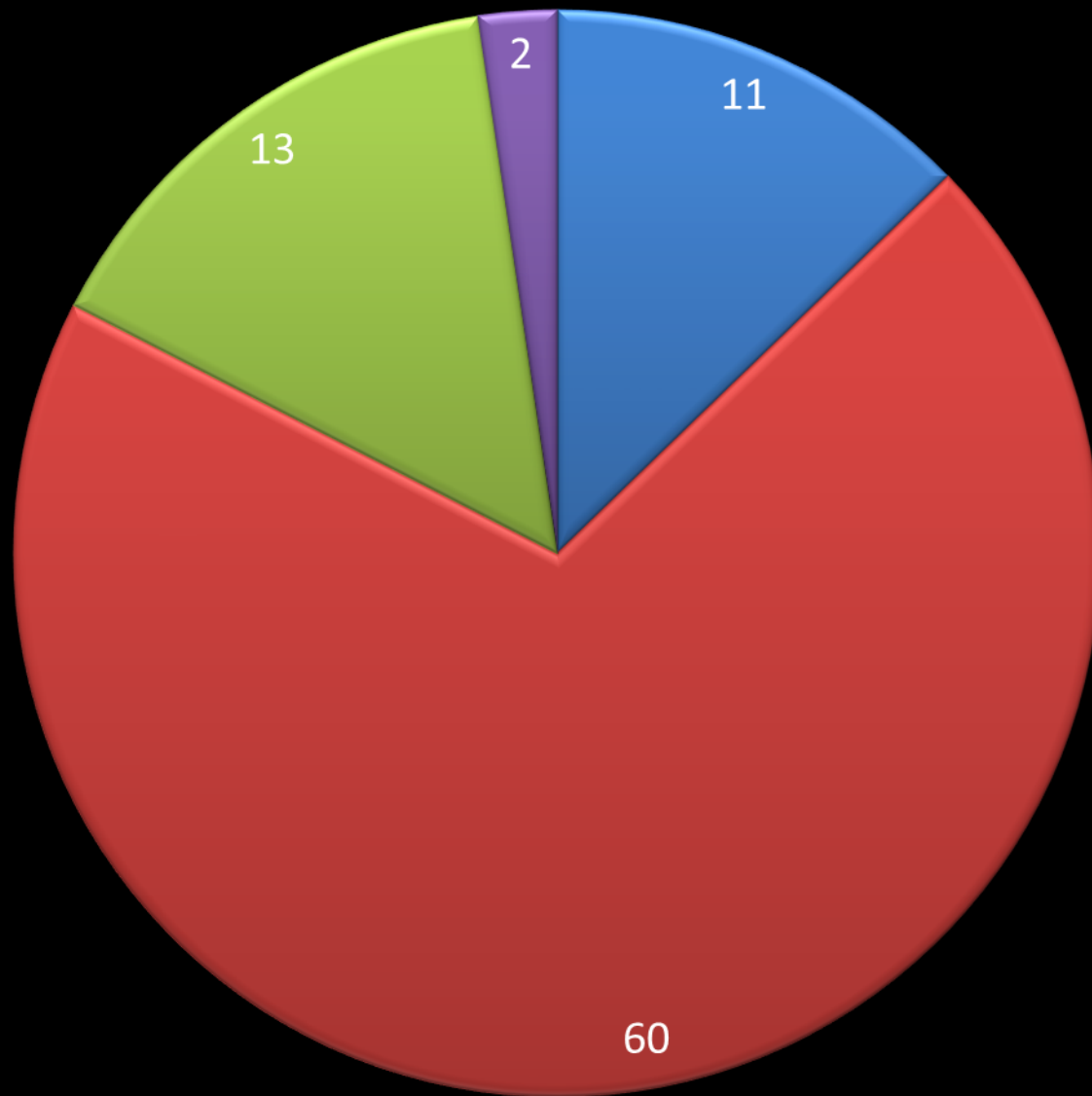
厚生労働省 基準審査課衛生専門官 飯塚 渉 氏

アンケート調査結果

「回答者ご自身について教えてください。」

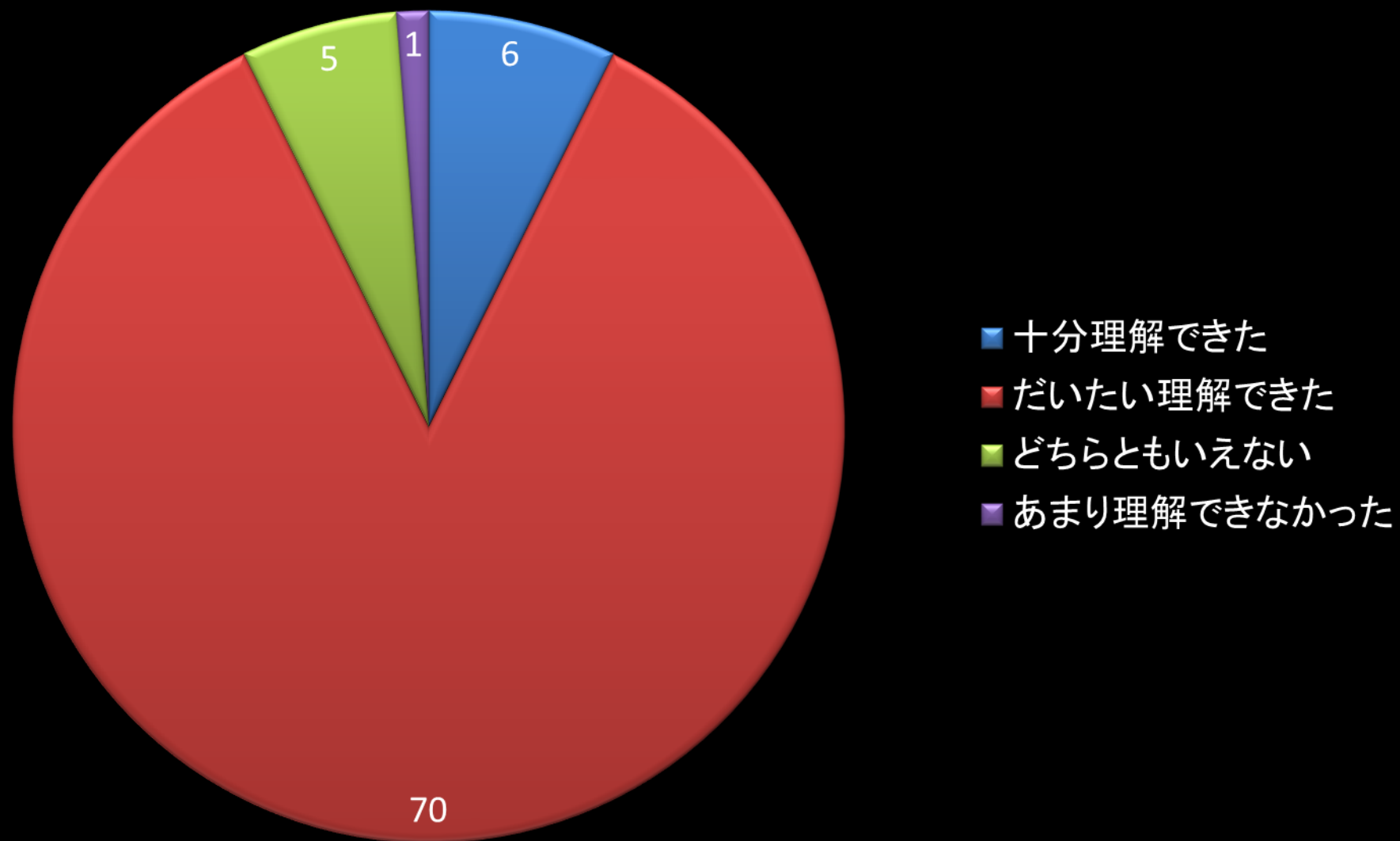


「基調講演の内容は理解できましたか。」

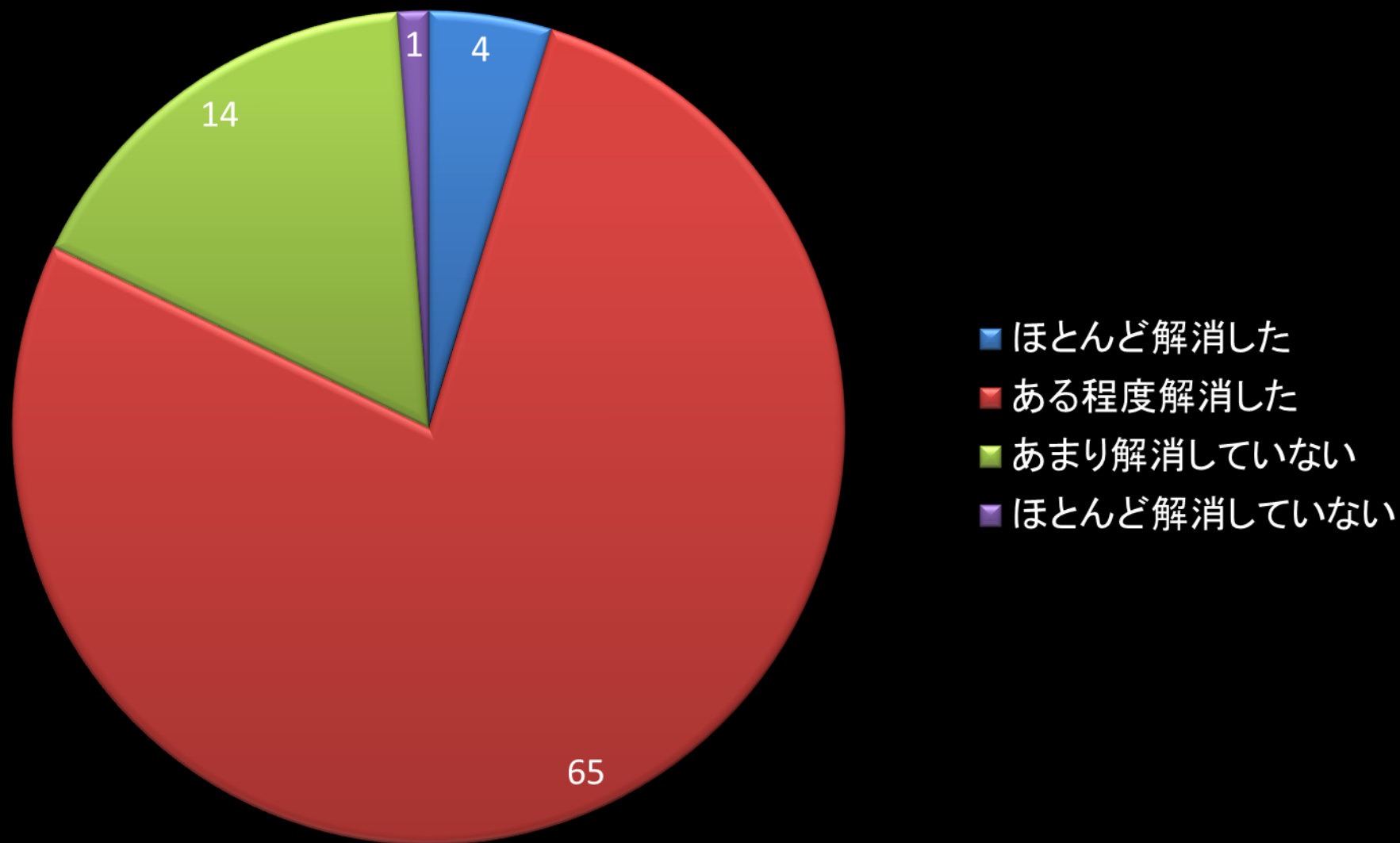


- 十分理解できた
- だいたい理解できた
- どちらともいえない
- あまり理解できなかった

「パネルディスカッションでは、各団体等の取組が理解できましたか。」



「放射能の食品や健康への影響についてあなたが疑問に思っていたことは解消されましたか。」



会場から寄せられた主なご意見

- ◆ 放射性物質の影響は今後もそれほど心配はしなくてもよいようなので少し不安は解消されました。
- ◆ 有益な事業と思う。会場数をふやしてもっと開催した方が良い。
- 検査のさらなる徹底をお願いしたい。
- みんなの認識がまだまだあまいのだから、スーパーなどで市民への簡単な説明会やビラ配りなどを実施した方が良い。
- 出回っている全ての食品について、検査がしっかりされているかどうか、まだ不安が残ります。
- 資料がわかりにくい。進行が速くてついていけなかった。

一関会場(一関文化センター中ホール)

■ 日時

5月20日(日) 13:00~16:00

■ コーディネーター

元岩手医科大学医学部特任教授 板井 一好 氏

■ 基調講演

内閣府食品安全委員会事務局 篠原 隆 氏

■ 調査報告

岩手県医療推進課感染症担当課長 工藤 啓一郎 氏

■ パネリスト

いわて生活協同組合理事 佐藤 ひろみ 氏

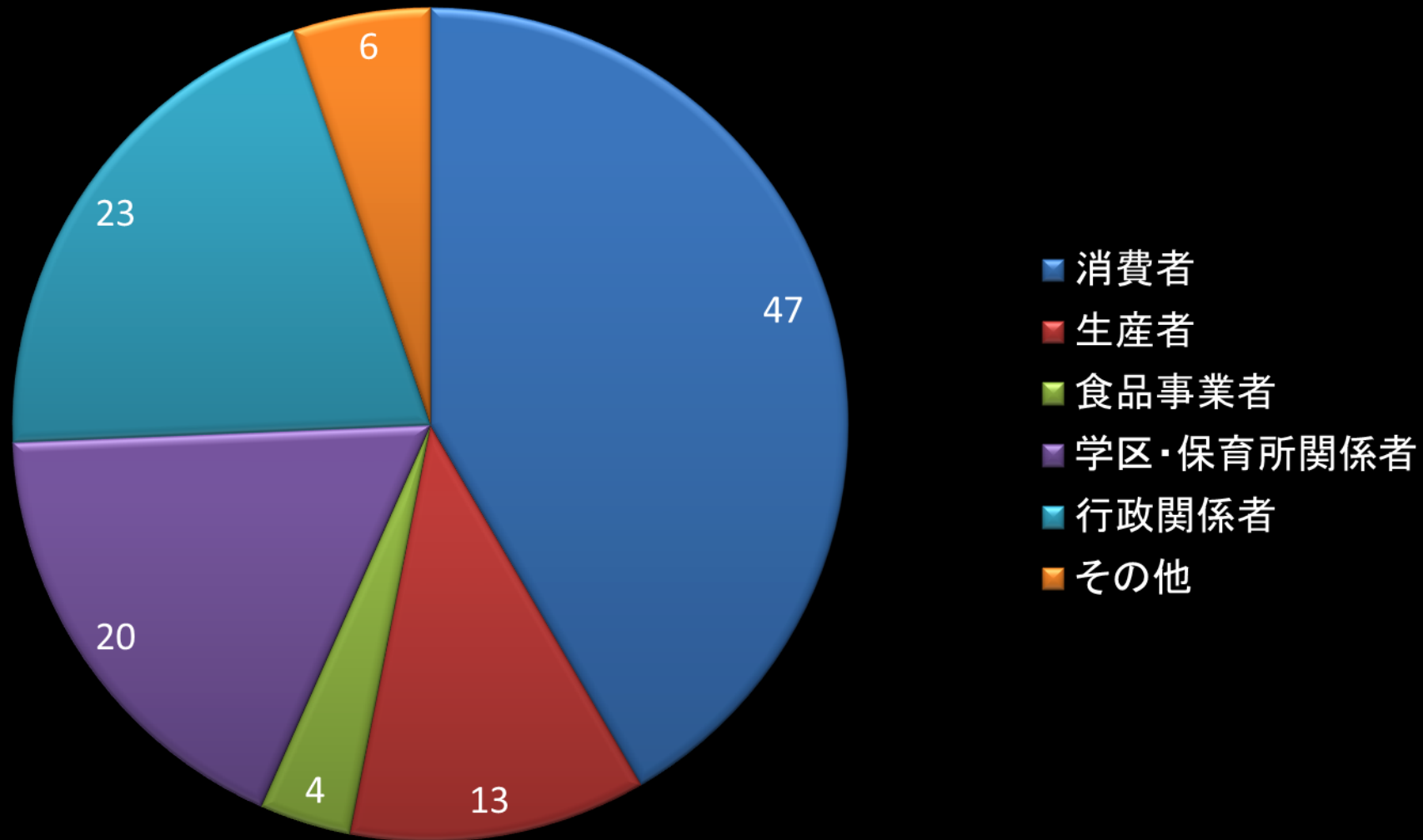
岩手県農業協同組合中央会 千田 淳 氏

イオン株式会社品質管理部長 仲谷 正員 氏

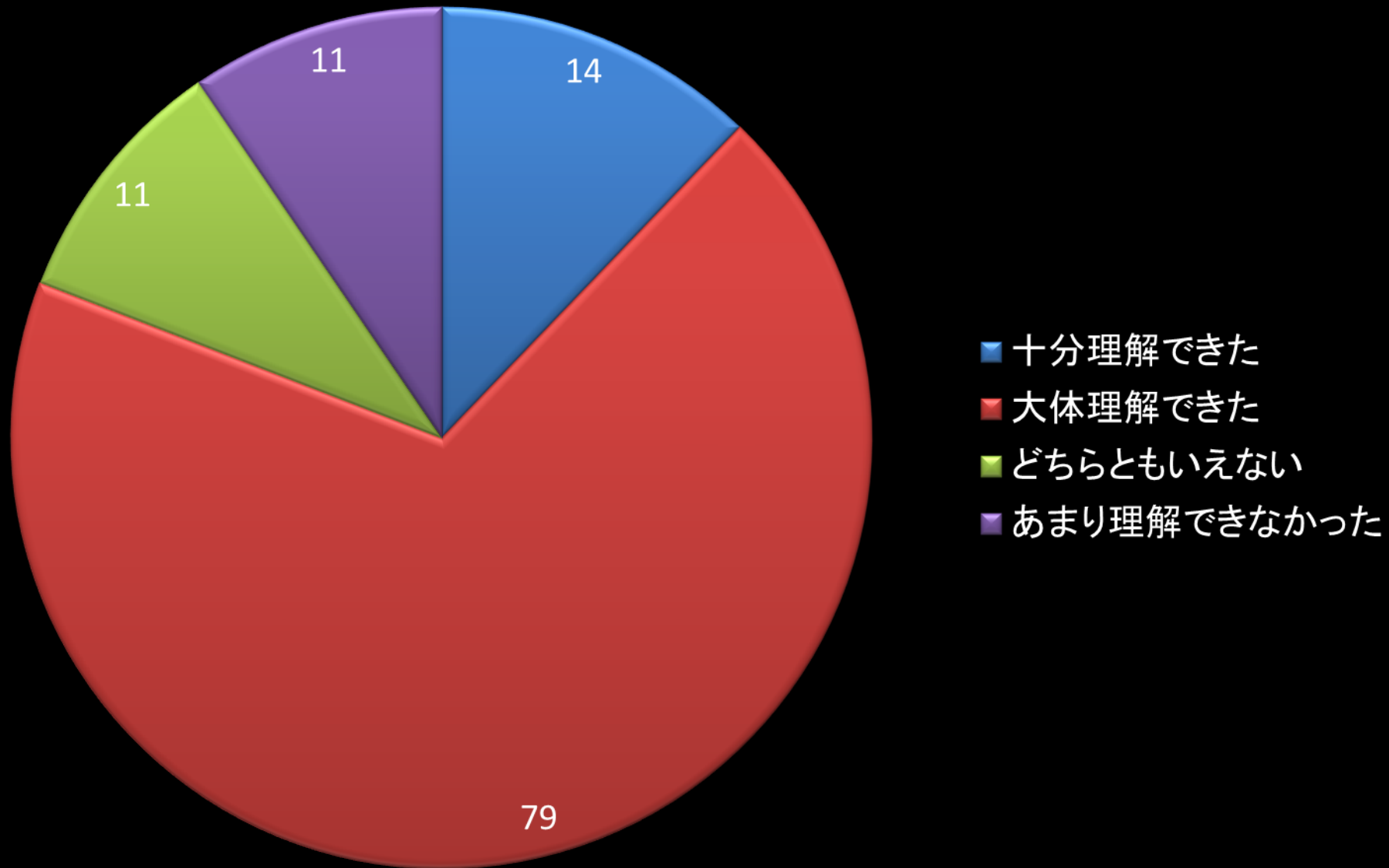
厚生労働省 基準審査課衛生専門官 飯塚 渉 氏

アンケート調査結果

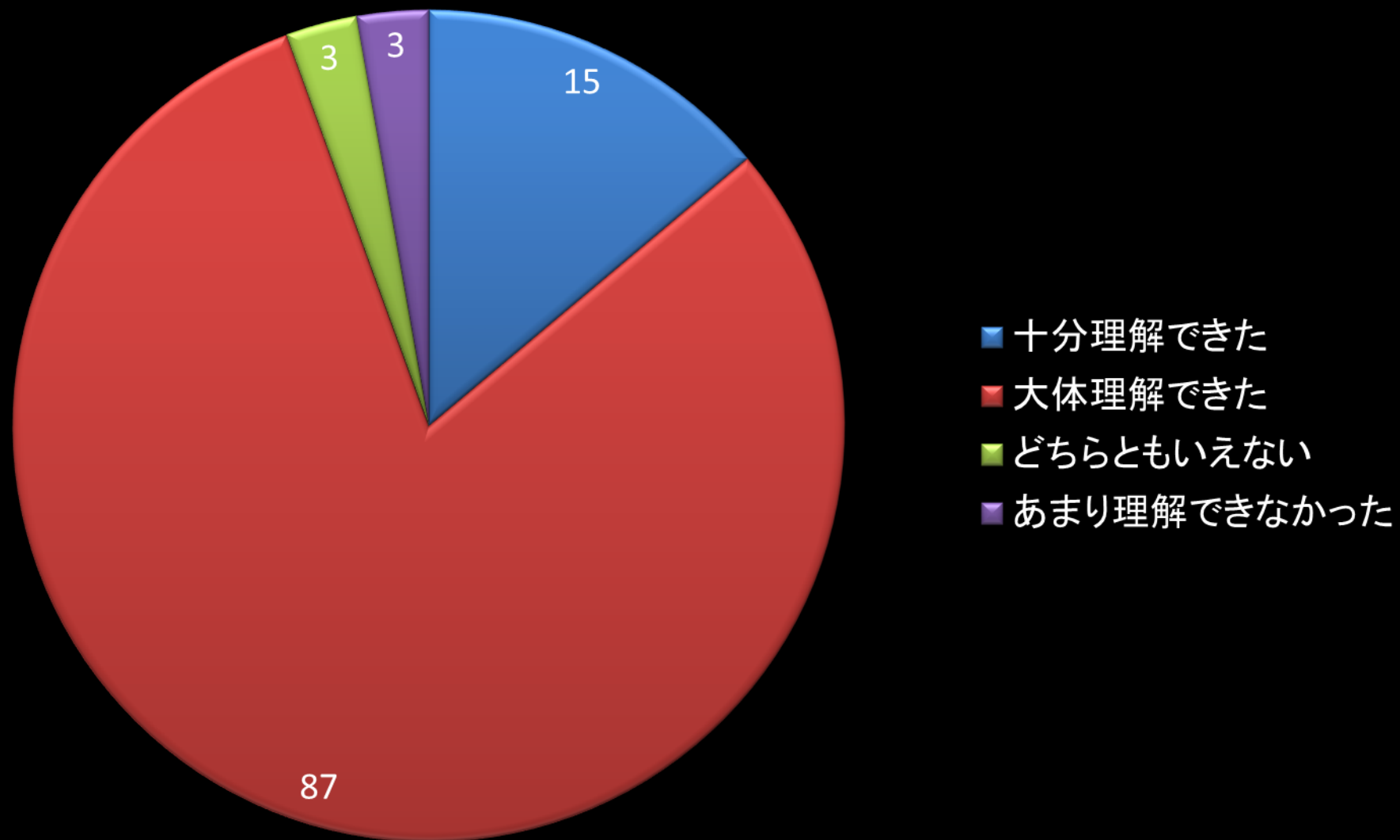
「回答者ご自身について教えてください。」



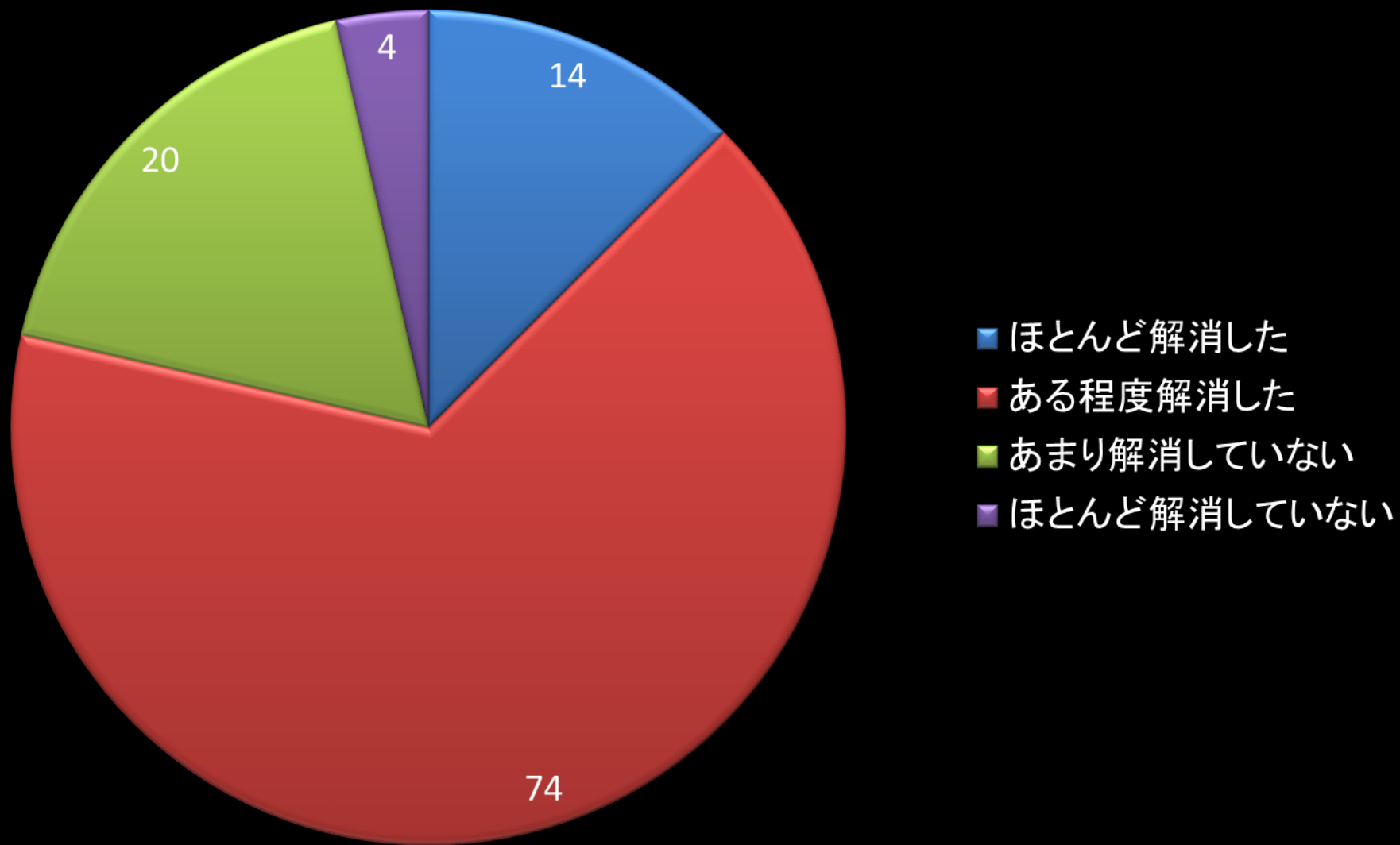
「基調講演の内容は理解できましたか。」



「パネルディスカッションでは、各団体等の取組が理解できましたか。」



「放射能の食品や健康への影響について、あなたが疑問に思っていたことは解消されましたか。」



会場から寄せられた主なご意見

- ◆ 各分野の方々のお話は、身近で参考になる。安全は食からというのをあらためて感じた。
- 国の基準が時にぶれることがあり、生産者は大変迷惑しています。
- 短期間の調査だけでなく、調査を継続してほしい。
- まだまだ分かっていない。いわてグラフだけでなく県政番組でも取り上げるべき。
- 今後、放射性物質に関する勉強は大人だけでなく、子供たちにも必要。
- 全体的に危機意識が薄いように感じた。心配いらぬ？そんなはずはありません。

盛岡会場(エスポワールいわて大ホール)

■ 日時

6月3日(日) 13:00~16:00

■ コーディネーター

元岩手医科大学医学部特任教授 板井 一好 氏

■ 基調講演

独立行政法人放射線医学総合研究所 原田 良信 氏

■ 調査報告

岩手県医療推進課感染症担当課長 工藤 啓一郎 氏

■ パネリスト

いわて生活協同組合常務理事 磯田 朋子 氏

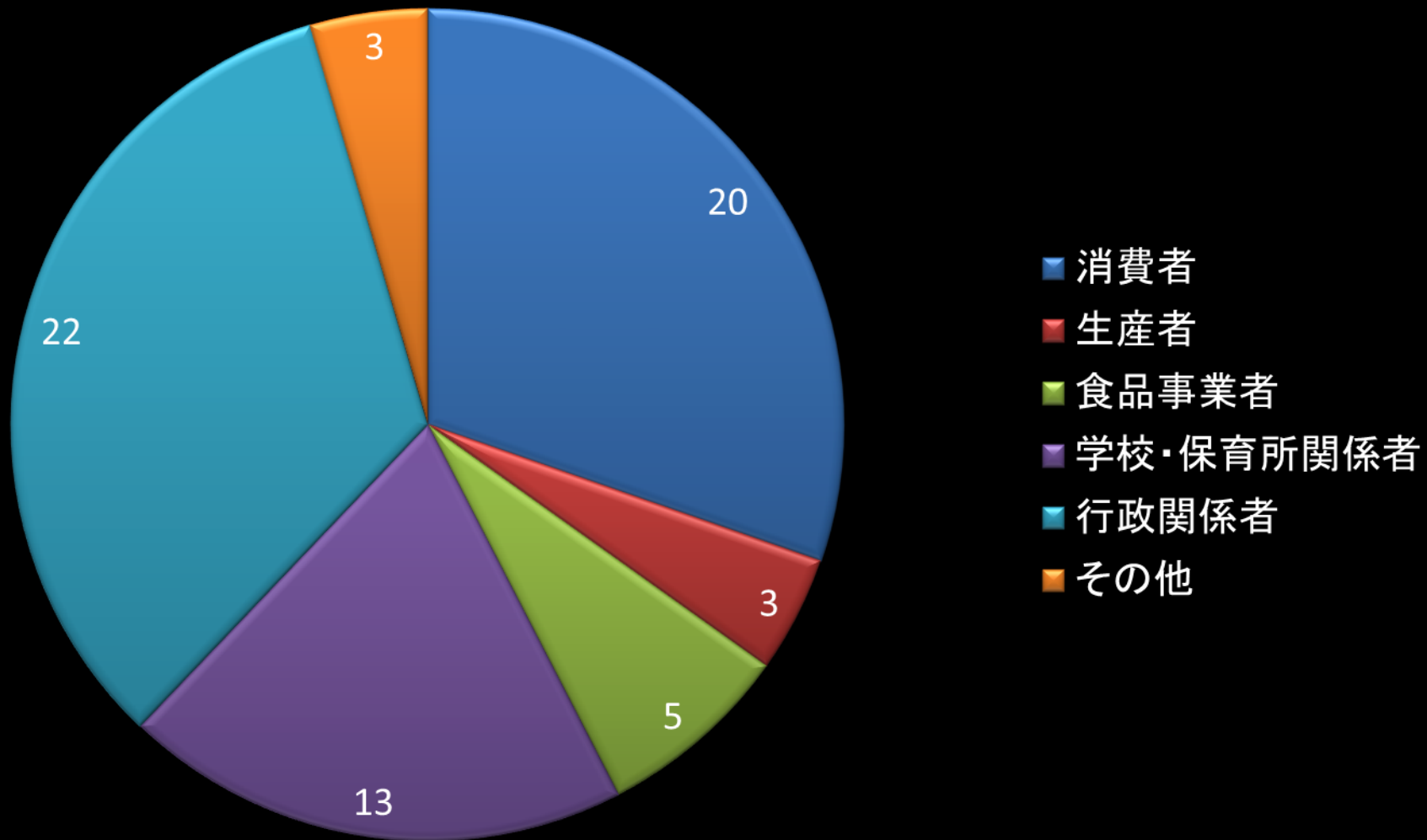
全農岩手県本部営農対策部次長 千葉 丈 氏

イオン株式会社品質管理部長 仲谷 正員 氏

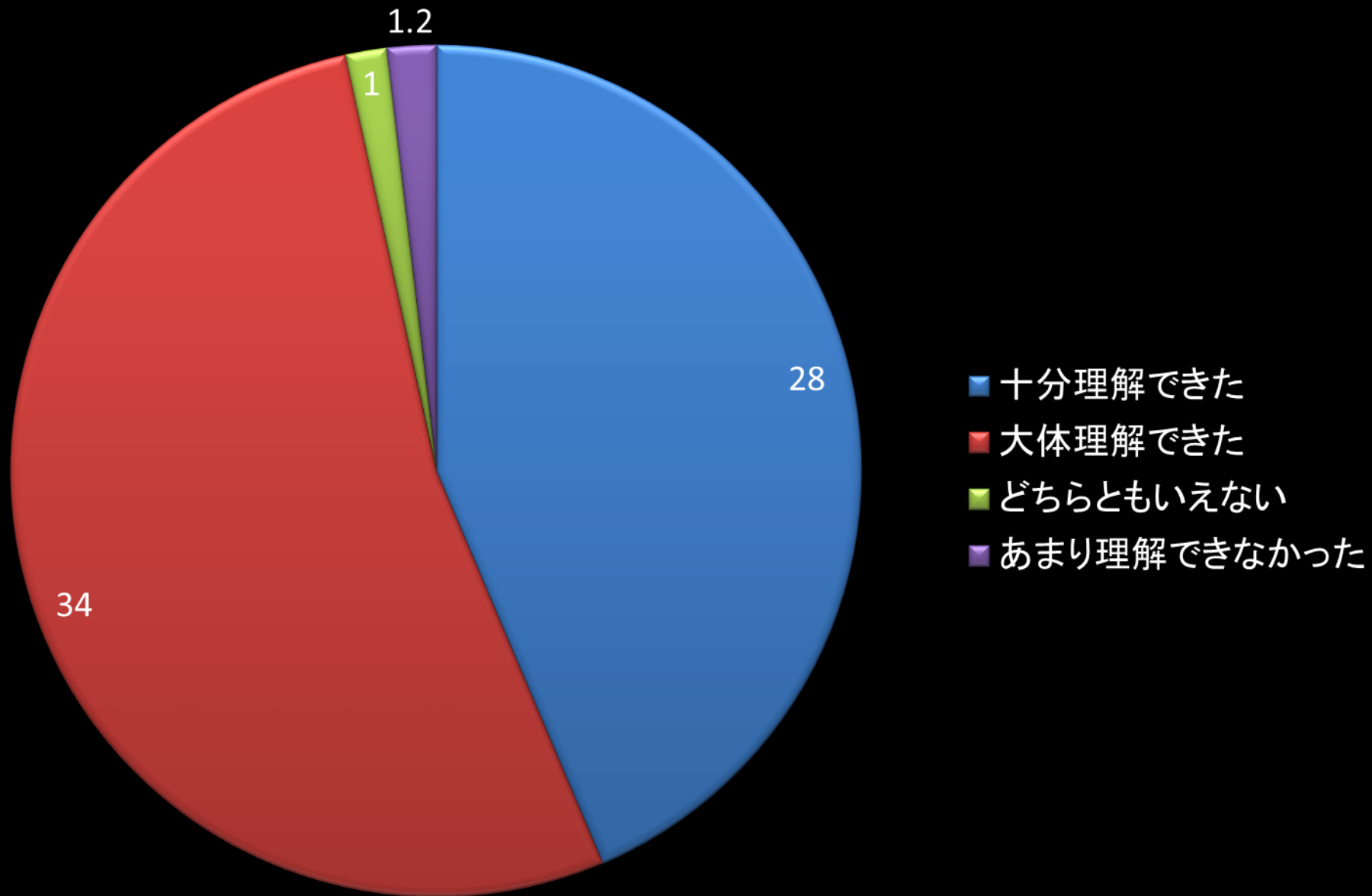
岩手県総務部放射線影響対策課長 渡辺 英浩 氏

アンケート調査結果

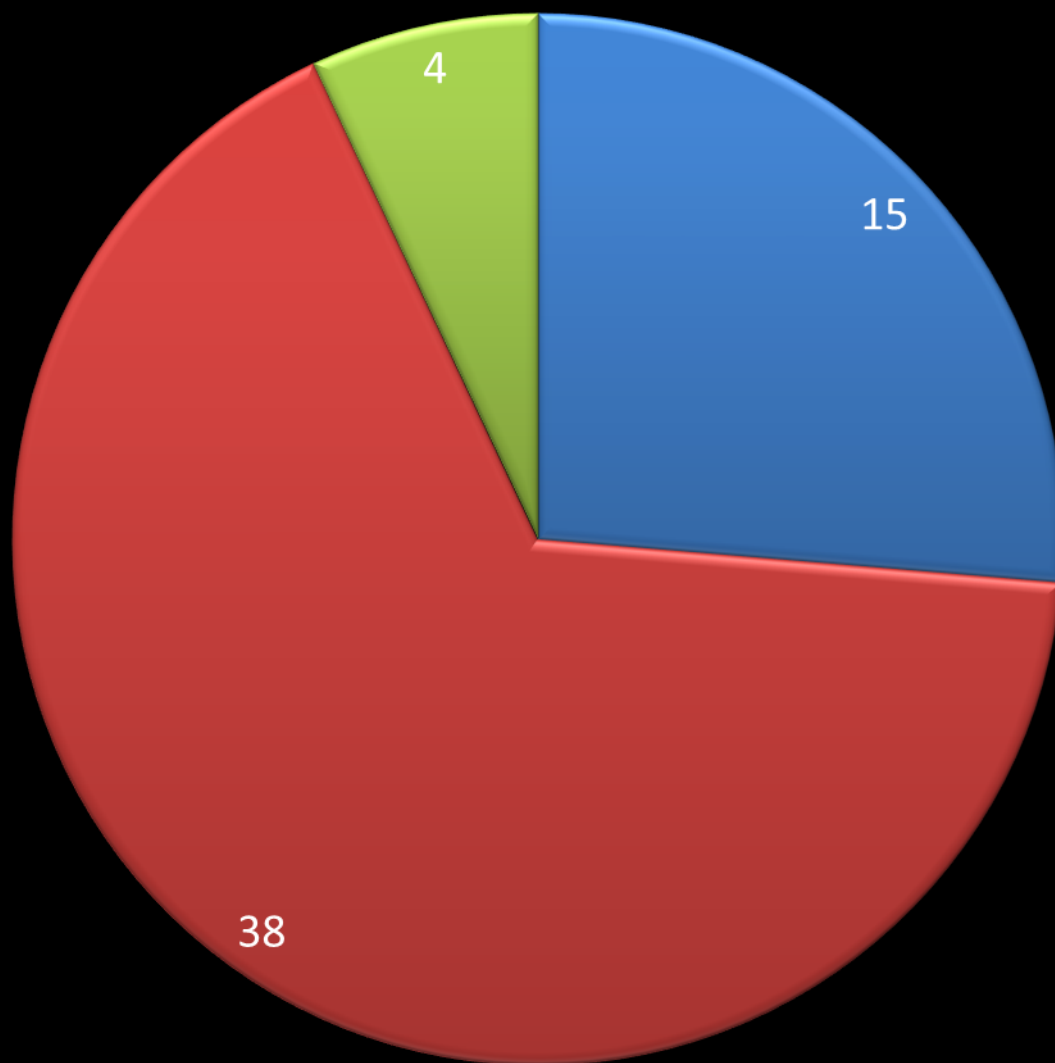
「回答者ご自身について教えてください。」



「基調講演の内容は理解できましたか。」

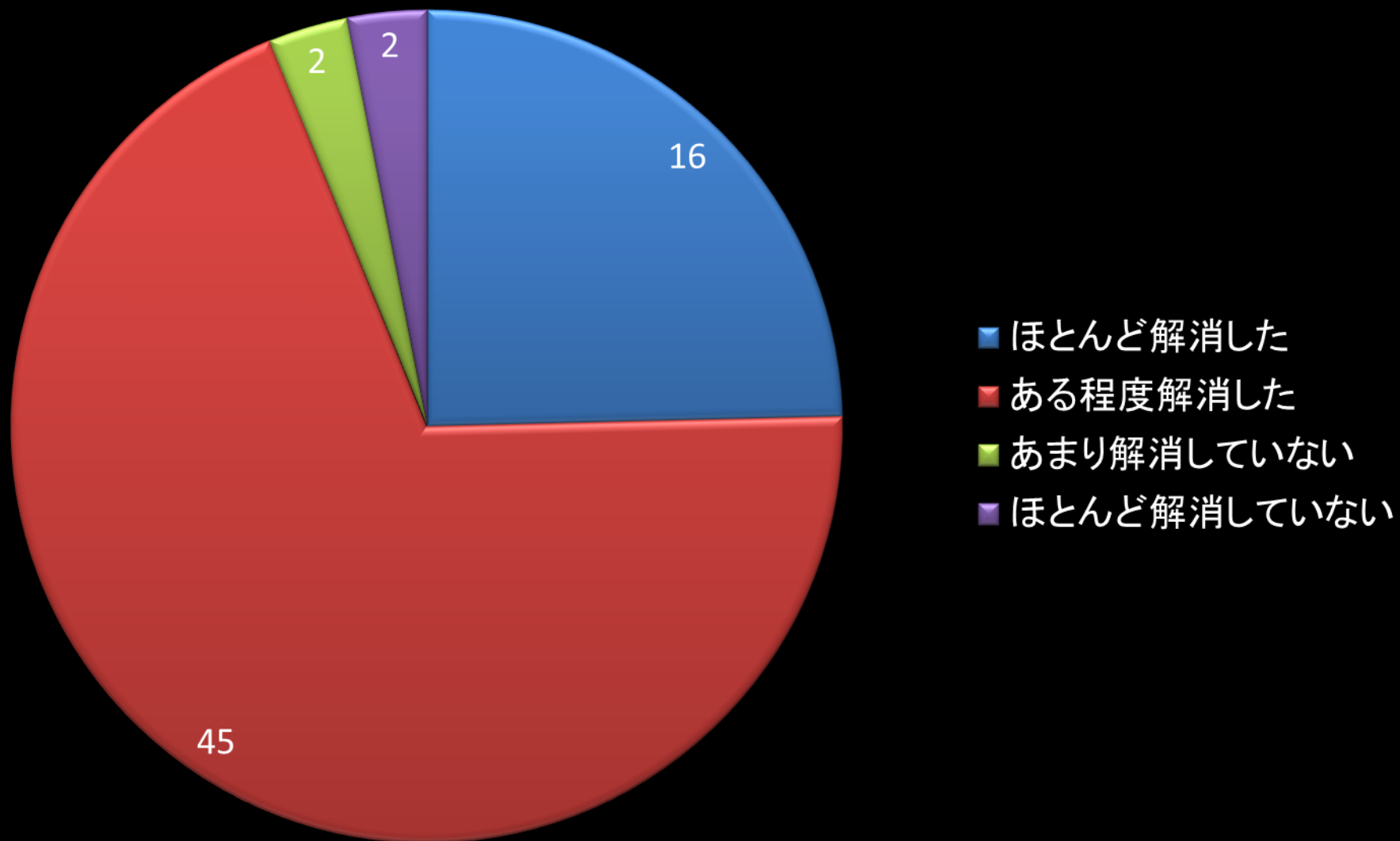


「パネルディスカッションでは、各団体の取組が理解できましたか。」



- 十分理解できた
- 大体理解できた
- どちらともいえない

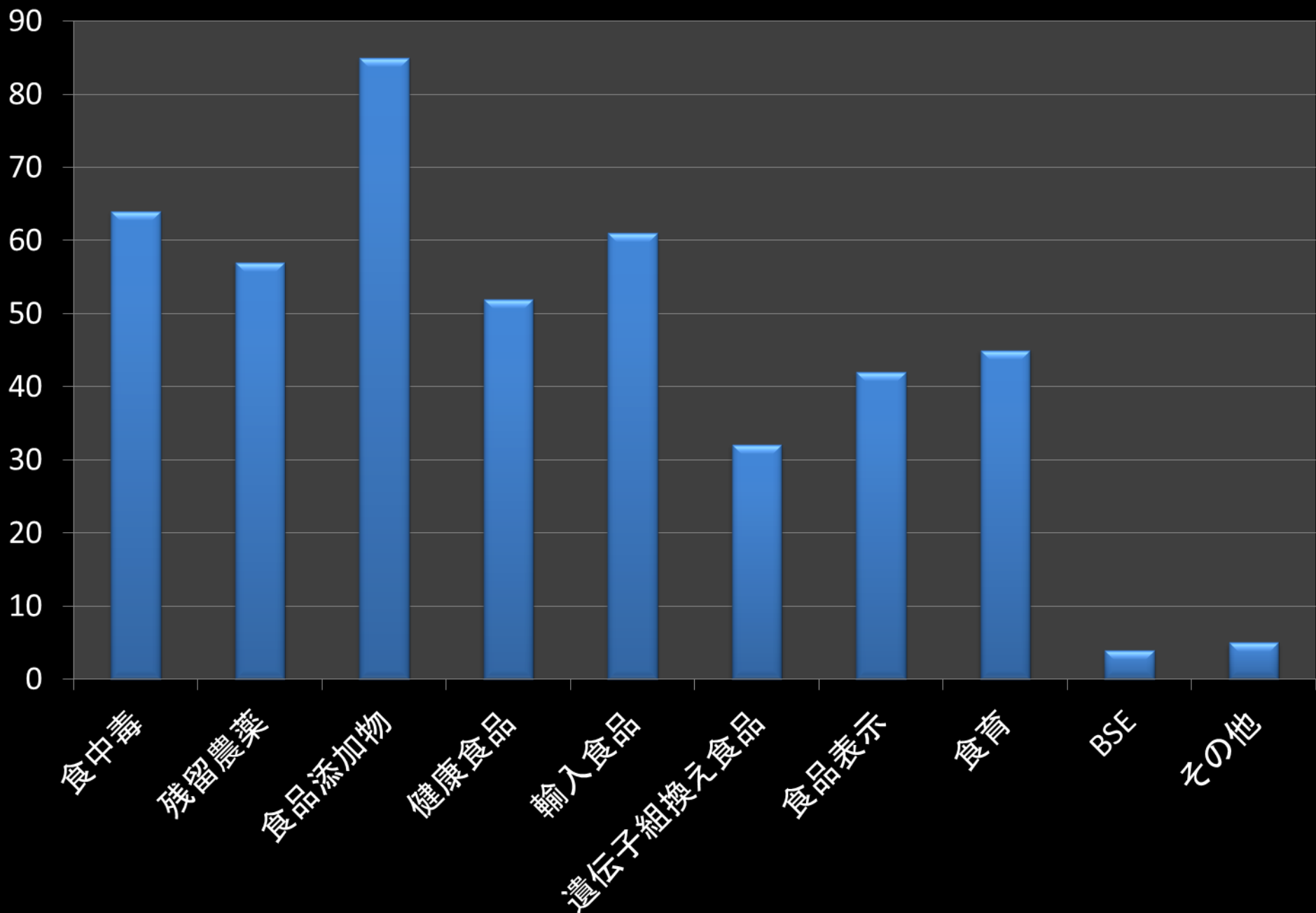
「放射能の食品や健康への影響について、あなたが疑問に思っていたことは解消されましたか。」



会場から寄せられた主なご意見

- ◆ 不安が広まるような情報が多い中、正確な情報や公平な情報を伝えていただき安心しました。
- ◆ 原田先生の話が非常にわかりやすかった。
- ◆ 過剰なリスク対策が他のリスクを生む、というお話が印象に残りました。
- ◆ 各分野で、皆さんが苦勞していることを感じました。
- この講演では放射線への危機感が感じられない。
- 新基準値は厳しすぎる。生産者への負担が心配。
- シンポジウムの趣旨が「安全です」という啓発にあるように思えた。
- もう少し時間をかけてじっくり開催してほしい。
- 放射線によるリスクを生活習慣病のリスクと比較するのは不適切。

「リスクミで今後取り上げてほしいテーマは？」



～食品の放射性物質汚染に係るリスクミ開催を終えて～

今回のシンポジウム開催により、多くの県民の皆様から放射性物質や食の安全の確保に向けた県の取組に関する理解が深まった、あるいは不安が解消されたとのご意見をいただきました。

一方で、「不安が完全には解消されない」「県はもっと情報発信に努めるべき」「まだまだ検査が足りない」など、県の取組について、多くの貴重なご意見をいただきました。

県としては、今後も、

- ①基準値を超えるような食品が流通しない(=安全)よう、計画的な検査を進めるとともに、
- ②県民の皆様に、『食の安全は確保されている』と感じていただける(=安心)よう、県民の不安解消に向けた積極的な情報発信等に取り組んでいく必要。